



11月2日 16:54、突然ゆらゆら一つとした揺れを感じました。「ついに来たか！」と身構えましたがすぐに収まり、TVをつけると最大震度4、紀伊水道を震源とするM5.4の地震でした。すぐに2階医局に災対本部を立ち上げ(といってもDMATメンバー数人が集まっただけで資器材なし)、院内被災状況を収集。被害なし、津波もなし、ということで17:08本部解散しました。シェイクアウトのポーズなんて、なかなか出来ませんね。

自衛隊ヘリが当院屋上に飛来しました

南海トラフ巨大地震に備え自衛隊との連携を深めるために、10月14日(日)陸上自衛隊による患者搬送訓練が当院を使用して行われました。

【空路輸送】:陸自ヘリUH1が屋上ヘリポートに飛来、模擬患者と看護師を乗せ三好病院へ。安全確認、患者引き継ぎ、患者搭載・卸下、などが行われました。

【陸路輸送】:陸自野戦型救急車により当院からあすたむらんどに搬送。同じく患者搭載・卸下、車内での看護要領などが確認されました。



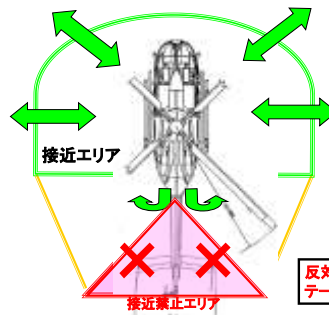
以下参加者の声です

災害時は当院で対応困難な患者さまを他院へ搬送しなければならなくなりますが、幸い当院には屋上ヘリポートがあり、ヘリ搬送という手段があります。

今回、自衛隊機によるヘリ搬送に参加してもらい、県立三好病院まで往復1時間のフライトを体験させていただきましたが、機内は音が大きく、会話もできず患者さまの容体の観察も困難でした。またドクヘリと異なり自衛隊ヘリ内には

小型・中型ヘリのcSCA TTT

4. ヘリに近づく時は方向が決まっています



反対側へ行く時には前から！
テールの下を通過しない習慣を！

なぜ、小型・中型ヘリコプターに関する知識が必要なのか？

DMAT隊員が搭乗する可能性は、大型ヘリ(CH-47)よりも小型・中型ヘリ(ドクターヘリ, 消防防災ヘリ, UH-1等)の方が多い！！

<搭乗する機会>

- 広域災害時の地域医療搬送
 - ・広域医療搬送のためのSCUへの搬送
 - ・災害現場から医療機関への搬送
 - ・医療機関から近隣医療機関への搬送
 - ・活動拠点本部からの移動手段
- 局地災害(多数傷病者事案)
 - ・災害現場から医療機関への搬送
 - ・医療機関からの転院搬送

※ドクターヘリ以外は医療チームは搭乗していない
→DMAT隊員が搭乗する可能性がある

小型・中型ヘリのCSCA TTT

1. ヘリ内での緊急処置はかなり難しい
→患者への処置はヘリに載せる前に行った方がよい



非常に狭い！



頭部にアプローチするのが難しい

群馬県防災ヘリ内

医療機器がないことからモニターや医療機器は全て持ち込みになります。搬送人数（患者＋医療者）を考えながら持ち込める医療資器材を選択するなど、繰り返し訓練をしなければならないと感じました。（スライドは DMAT 養成研修資料より）

災害講演会に行ってきました

先日災害支援者向け講演会として防衛医大の秋富慎司先生の講演会があり行ってきました。秋富先生は、千里救命救急センター勤務時に JR 福知山線事故で現場活動され、また岩手医大勤務時には東日本大震災に遭遇し、岩手県庁災害対策本部に詰めた経験などをお持ちの救急医です。

日時：平成 30 年 11 月 2 日（金）14-16 時

場所：徳島保健所2階会議室

講演：「被災者であり支援者であり続けること～心を支えるために～」

講師：防衛医科大学校 救急医学准教授 秋富慎司先生

当日は会場いっぱい、50 名程度の保健師、養護教諭、消防、医師会など多職種の方々が参加されていました。穏やかな、しかし経験者でなければ語る事の出来ない言葉には説得力があり、私たちの心にも強く響きました。



大規模地震時医療活動訓練報告会が開催されました

今年 8 月 4 日に開催された上記訓練の徳島県での報告会が先日開催されました。

日時：平成 30 年 11 月 17 日（土）15:30～

場所：グランヴィリオホテル徳島

当院も籠城担当で参加した今年の政府訓練ですが、徳島県からの患者搬送を受け持つはずの高松空港 SCU で、一定数を越えた患者の受け入れが出来なくなりました（キャパオーバー）。これまでこのような事態は想定されておらず、今回の訓練では京阪神や岡山に直接搬送することを県庁が調整することになりました。「香川県内の病院は無事なので、どんどん受け入れてくれるはず」という想定も、実際には不可能になることだってあるかもしれません。今回の訓練が「想定外をなくす」いい経験になったなら訓練は大成功です。他にも、支援に来た DMAT に渡す「活動指示書」の使い方をもっと工夫したほうがいい、高速道路の車両通行許可証発行に関する手続きなどを NEXCO 西日本と事前に検討する必要がある、保健所と県庁の連携のあり方、キャパあり SCU のキモは給油だ、といった課題もたくさん抽出できました。

今回の政府訓練は当院にとっても徳島県にとっても非常に有意義な訓練になりました。引き続き訓練を繰り返しながら課題を抽出し、対策を講じていきたいと思えます。

参加された皆様お疲れ様でした。

